



理事長挨拶

寒い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？我々一般社団法人常陸國大和塾も無事に一年目の決算を迎えることが出来ました。2 期目の今年も寅年です。寅に負けないくらい勢いよく活動を進めて行きたいと思っておりますので、皆さんも出来るだけご参加ください。その気持ちを表現する場として会報を作成しました。是非ご一読下さい。

一般社団法人常陸國大和塾 理事長 江幡博明

今月のテーマ

「大和塾への想い」

なぜ大和塾に入会したのか、大和塾で何を実現したいのか、大和塾に何を期待するのか、各理事・会員の想いを綴って頂きました。

理事長 江幡博明

僕がこの大和塾を始めたのは、賢人塾の田端代表の影響が大きいです。世の中の不条理に悩んで嘆いていた時に、代表にお会いして、その行動力に圧倒されました。人に何かをしてもらうのではなく、人に何が出来るのかを考えなければならないと思うようになりました。

現状を嘆くよりも、自分が考え行動して、未来を変えてゆくことが、自分のライフワークだと直感したのです。幸いに良い仲間にも恵まれ、この大和塾の活動を通じて社会貢献出来るのが今の自分の誇りとなっています。これから理事長として恥ずかしくないよう行動して参りたいと思っております。

副理事長・園芸委員長 高橋竜治

私が大和塾へ対する思いは、食糧難になった日本を勝手に想像すると、お金で物を言う人達が我が物顔で歩くのではと想像してしまいます。お金・権力ある者が弱気立場の人達を助ける世の中にならな

いと思っています。大和塾で自然の力で自然の食料を栽培する事で弱気者を含めて救えるのではと考えています。

これから先、子供達に何を残すのかと考えてみると、私自身は、決してお金では無いと思っております。今、私達の世代に於いても自然の遊びをどれだけ知っているのでしょうか？

自然の中で生きる事の素晴らしさ、生きる為の知恵を大和塾で学び、未来の子供達に残して行きたいと考えています。

貧しくても、素晴らしい笑顔を見る事が本当の幸せだと思います。走り出しの大和塾ですが、熱い思いを持った集団ですので、皆さんと共に繁栄させて幸せな未来を築いて行きたいと思っております。

理事・人財育成委員長 岩本貴志

「心の強い人間になりたい...」自分自身が、常日頃から思っているテーマです。世界が大きく変化している状況の中で日本も大きな波が押し寄せ、生活、経済、環境そして人も大きく変化しなければ取り残される時代が来ていると日々感じていることでもあります。

大和塾に縁をしたきっかけは、若手の経営者の勉強会の集まりからでした。事業を行なう中で、常に世の中の流れに追いつくように、情報を取るようと勉強し事業の発展に力を注いできました。しかし、確かに大事な事かもしれませんが本当に大事なことは人だということにも気づかされました。人に助けられるが、人にも悩まされる。常に自分の迷いと、人の悩み。その壁を乗り越えるためには、どうしたら良いかと考え続ける毎日でした。ふと考えてみると、自分自身も周りも乗り越える強さに疲れ、甘え、逃げることを先に考えていくような弱い人間になっていっている。この弱さを克服しなければならないと強く思い大和塾に入会しました。本来の日本人の姿は表面的な強さではない内面の強さがあり、責任を他人のせいとせず自分でとり、最後まで思いを貫き、戦う姿勢でやり遂げ逃げず、耐える事を知りそして優しくと心の強い人であったと思います。今の世の中では、間違った考え方で弱さが当たり前といった傾向も多く見られます。何かどこかで、日本が、人が、考え方という道を勘違いしており、社会でも企業内においても人を育てることの厳しさができずにいると思っております。そういった、弱い心、間違った考えでは、この厳しい世の中を乗り越えることはできないはずで、大和塾の中で自分は、物の見方、考え方を根本的に見つめなおし、過去の日本の姿を勉強し、強い自分作りのために何かを学びたいと思っております。そういった想いの仲間で大和塾も育ち、大和塾の環境が少しづつでも心の強さのある人を育てていけるようになっていきたい。そして厳しい世の中を乗り越え、強い人、強い日本に大和塾の活動で少しでも変えていきたい。そう期待しております...

大和塾からのお知らせ

2月の活動予定

- 2月13・14日 第二回関東憂国志士の会が水戸で開催されます。
 - 2月17日 19:00 第四回ミニセミナー「日本人の伝統と文化」が開催されます。
 - 2月23日 19:00 第17回例会が開催されます。
- 園芸委員会の活動日は決まり次第、Webに掲載します。

12月に第一期の年度末を迎えました。決算及び事業報告書が出来ましたら、法令により理事会と社員総会を開催する必要があります。申告が2月末までですので、2月中には開催したいと思っておりますので出席をよろしくお願い致します。

PR コーナー

会員の皆様の自社 PR などを募集しております。

セミナー案内

介護開業セミナー

日時：2010年3月1日(月)14:00～16:00
(16:00より個別相談会有り)

場所：職業人材育成センター(水戸市)

受講料：お一人様3,000円

- 内容：(1)介護事業・保険の概要
- (2)介護経営のポイント
- (3) 成功事例紹介

講師：岩下 由加里氏

講師略歴：(有)ファイブアローズ取締役

在宅医療・介護保険事業の医療法人理事を歴任

全国で介護セミナー多数。介護専門誌執筆中。

主催：株式会社マネジメントセンター

一般社団法人 常陸國大和塾
〒310-0912
茨城県水戸市見川 3-741-1 C101
TEL029-303-7772 FAX029-303-7773
www.yamato-juku.jp
info@yamato-juku.jp

株式会社アイ・シー・キューブ	www.ic3.co.jp
株式会社高竜組	www.takaryu.co.jp
株式会社ねぼけ	neboke.pocketweb.jp
有限会社ファイブ・アローズ	aozora-felice.blog.ocn.ne.jp
有限会社ビックワールド	www.7b.biglobe.ne.jp/~big-world/big-world.html
株式会社ストアー谷津	global-meat.jp
タンポポグローバル株式会社	gourmet.yahoo.co.jp/0007549333/
皆川社会保険労務士事務所	

副理事長 鶴木聖子

敗戦後、日本は奇跡的な経済発展を遂げ、多くの日本人が豊かな生活を享受している。しかし、グローバル化が進む中、物が豊かになっていくのとは反対に多くの日本人は何か大切なものを置き去りにして、心のよりどころを失ってしまっていると思う。身を粉にして働き裕福な国になったものの、病んだ国、国民を作り上げてきた。世界59カ国で行った意識調査によれば「自国に誇りを持っているか？」の問いに「持っている」と答えた日本人の割合が、54.2%で、なんと59カ国中56番目という低い水準である。本当に日本という国は誇りが持てないような国なのだろうか？私は日本人であることが何より誇りに思えるし、四季があり、多くの自然に恵まれたこの国に生まれたことはとても幸せなことだと思っている。そして、日本の文化は他国にはまねることのできない魅力あるものであり、島国ならではの日本独自の素晴らしい文化だと思う。誇りが持てないのは、戦後の教育によるものが大きいと思う。誇りを持っていないような教育を受けてきた。誇りを持つことは一つのおごり、そして他者への思い上がりという意識教育をされ植えつけられている。道徳の授業がなくなったのもそうだと考える。「感情」を抑えられ、「意思」がくじかれている。

国に対する誇りはどうしたら取り戻せるか？先祖や自国の良いところを学ばなくてはならない。日本の伝統文化やお国柄を学ぶ。そして、それが知識だけでなく、多くの喜びや満足を感じる心を持ってたときに「誇り」が生まれるのだと思う。その喜びを共に学び培っていける場が「大和塾」であり、日本人の心を取り戻すべく活動を出来ればと思う。

今の私は、まだまだ活動が出来ずに、ほかのメンバーに甘えているのでこんなことを書いていたら激を飛ばされそうですが…。けれども、今の子供たちや若者に本来の日本人のあるべき姿、そして誇りを持って頂くための塾として活動をしていくことができると考えている。そして、病んでいるといわれる日本人一人一人が自分の持つ誇りに恥じないようにする為には、自分のもつアイデンティティ、つまりは私は日本人であるというアイデンティティに関わるものであり、日本人で良かった！日本に生まれて良かったという喜びと満足を感じあえることが大切だと思う。誇りを失えば、恥を知らずに自己中心的な無責任の人間になりうる。まして、名誉など大切にしない。誇りある日本の歴史を塾の中で学び、自分の今があるのは、祖先のおかげだという尊敬や感謝の気持ちを抱くことが出来、自分の命もしっかりと先祖から受け継がれたものだと感じることができれば、命も大切に先祖のおかげと 思う気持ちに気づけるのではないかと思う。そうなれば、生まれてきた意味、生きる目的や生かされているという事を知り、お互いを思いやる心や助け合いの心、そして何より国を愛する心が培われていくのだと思う。大切なものを取り戻すことのできる塾として、多くの方々と共に心が元気になるような大和塾にしていきたい。

理事・福祉委員長 岩下由加里

平成20年夏、私の故郷である熊本の賢人塾田端代表と出会い、そして水戸の友人たちと共に何かを始めたい！と強く思いました。大人になって、良いことも悲しいことも共有し、勇気をもらえる友人と巡り合ったのは、とても幸せなことです。この縁をもっと深め、互いに成長するための仲間となるために何かを始めたいと思っていました。

そして、もっと、強くなやかで優しく、穏やかな人になるためには、経営ノウハウだけを勉強していてもダメなのだろうと以前から思っていました。果たして、何をどうするのかかわからず、日々を過ごしていました。

常陸國大和塾では、人間の徳を高め、日本の良さを学び、周囲の人々に幸福をもたらすことのできるそんな自分に成長できると感じております。自分を高め、成長させる。そのことが自分の経営する会社を高め、従業員と顧客の幸福を作り上げることにつながるのではないのでしょうか。

私の担当は、福祉委員長です。自分の最も得意とする福祉分野で活動できることを楽しみにしています。アイデアは豊富です。ぜひ、一緒に活動していただませんか？

年をとっても障がいをおっても幸福だと感じられる自分であるために常陸國大和塾で共に学びましょう。無知は、最大の不幸です。福祉とは、幸福であることです。自分や周囲の人々の福祉のために福利だけを求めない生活をしてみましょう。そして、知恵をつけましょう。知らないだけで、悲しい思いをすることがどんなに多いことか。そのことが結果的により良く生きることにつながるのです。

今年のお正月にゴッドファーザーをDVDで鑑賞しました。お金や地位・権力・名誉そして名声を得ても、心は不安で孤独なゴッドファーザーの物語でした。この物語は、究極のお話ですが、他人を自分と比較して、誰かに勝つことばかりを、そして誰かに認めてもらふことばかりを気にして、生きている人々は多いのではないのでしょうか。その心はいつも満たされません。それが福利を求めて、福祉から遠ざかることなのです。この続きは、4月から開催予定のメンタルヘルスケアセミナーでお話しようと思っています。

ぜひ、セミナーにお集まりください。



理事 谷津泰宏

私の大和塾への想いです。まず自分自身の足りないもの探しをしている時に、「心を取り戻そう」という言葉を聞きました。「心」って？日本人が歴史の中、大事にしてきた精神、教え、誇りかなと自分で解釈しました。昨今グローバル化や欧米化、情報化が進み、日本人の大切にしてきた先人の教え、「心」が薄くなってきたかのように思われます。自分自身どれ程理解できているかは分かりませんが、そう思った今、深く理解し、皆に次世代に伝えることが必要と感じました。

私は「食」に関わる職業であります。感じることは、日本の食料自給率40%という中で再認識しなくてはいけないこともあるのではないかと考えています。自然の恵み、食物連鎖の命のつながり、そういった中でのありがたさ尊さって物が溢れている現在、忘れかけてはいないでしょうか。生きていくそして残していく、この責任ってとても重要なことです。

日本には誇れる精神や文化や歴史、自然があります。大和塾での活動をしている中で、このことを再発見し体感しそして発信できたらなと思っています。「心」を大事に、想いを形に、そして後世に語り継ぐことを使命に活動していきたいと思っています。

侍会員 西郡太

私はちょうど1年程前から大和塾に参加させていただいております。大和塾を知るきっかけとなったのは中村文昭さんという三重県でレストランウエディングを運営されている方の講演をお聞きした際、その話の中に出てきた中村さんの人生を変えたという師匠の田端さんという人物に大変興味を持ち、田端さんを色々調べていたところ、田端さんが活動している賢人塾(熊本)が茨城のしかも水戸でもやっている(大和塾)と聞いてこれは是非参加したいと思い飛び込みで参加させていただきました。純粋に参加させていただいた理由としては田端さんの「日本人の心を取り戻そう！」という想いに大変共感したからです。日本人が忘れてしまった心…。自尊心を持ちつつも、自分より相手のことを思いやる気持ちや、自分の言動や行動に責任を持って生きていた誇り高き心…。

日本人なら誰もが知っている神風特攻隊の話は有名ですが、愛する家族を守るため、愛する家族が住む日本を守るために自分の命もろとも爆弾を積んだ飛行機で敵艦に突っ込んで行ったわけですが、もしもそんな誇りを持って亡くなっていったご先祖が今の日本を見たら、今の日本人を見たら…おそらく日本人としての心を完全に無くしてしまったわけではないけど、現代社会を見てみるとそういった心は薄れてしまったように見られます。

そんな私も大事な心を失くしてしまった一人だと強く感じ、「日本人の心を取り戻そう！」と思ったのでまずは自分が変わろうと思っています。まだまだ大それたことを言えるような自分ではありませんが少しずつがんばっていきたくと思っています。

将軍会員 栗田隆宏

入塾のきっかけは、「お金でなく人のご縁でっかく生きる」の著者・有限会社クロフネカンパニーの中村文昭氏の人生の師匠。「田端さん」にお逢いしたのが、私に大きく影響を与えております。熊本の阿蘇山のふもとに個人資産で築いたとは思えない江戸時代中期の武士の暮らしを再現する立派な建物があります。その中で、作法・所作を学び、淹に打たれ、居合い刀を振り回しました。田端さんは、がんに侵されながらも明けがたまで酒を酌み交わして下さったのが何よりの感動でした。そこで我が代表江幡さんが「よかったで終わらせないで、茨城に帰ってからも学んでいこう！」と掛け声をかけてくださいました。その通り！と共感し入塾したわけです。前置きが長くなりました。

私は、この大和塾において色々な体験や学びを通じながら日本の素晴らしさや文化に気づき、これからの自分の人生を心豊かにすごし、これから出会う人たちに何らかの良い影響を与えて行ければわが幸せです。

「共に学べる友を持つことは一生の宝である。」一緒に素敵なお和塾を造りませんか？

侍会員 小田真吾

皆様、はじめまして侍会員の小田真吾です。私は江幡理事長や高橋・鶴木副理事長達とともに一昨年の初夏に熊本県阿蘇の賢人塾 田端代表を尋ねたメンバーの一人です。賢人塾での体験は、現代社会で生きることに慣れすぎている私たち(私?)にはとても刺激的でした。中世の武家社会を意識した田端代表をはじめとした塾生たちの生活は、義理や人情・名誉を大切にし卑怯なことを嫌い、所作に無駄が無く理由があり、質素儉約し我慢強く自給自足をしていく、そのような人間性を持っていたのが日本人であるということに気付かせてくれました。そのことは同時に、私に本当に必要な大切な事存在を教えてくださいました。日本人の心を取り戻し、お金ではないたくさん大切なものを大事にしていきたいと思い、大和塾に参加させていただきました。

大和塾においては、古き良き日本人への理解を深め本当に大切なものをより理解していくこと、経済社会に左右されない生活基盤を築くために農業を実践していくことをしていきたいと考えています。

どうぞ、宜しくお願い致します。